

## ☆玉城町立玉城中学校区の取組

### ◆事業概要

#### 1 中学校区の現状と課題

玉城中学校区では、他地域から移り住む世帯が増えたり、開発された住宅地が広がったりして、人口が増加しています。それに伴って、住民の価値観も多様化し、地域のつながりも希薄になってきています。また、近年の不況などが影響して、経済状況の厳しい家庭も増加する傾向にあります。子どもたちについても、このような人と人とのつながりの希薄さや、不安定な家庭生活から、自分に自信がなく、自己有用感が持てなかったり、自尊感情が低かったり、学習に対しても意欲的に取り組めない等の課題が明らかになっています。中には登校しづらくなる子どももいます。

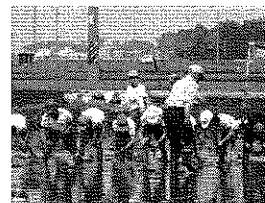
#### 2 課題解決のための主な取組

##### (1) 校区住民と子どもたちが一緒にすすめる農業体験

###### ・お米づくり

子どもたちが地域住民と一緒に活動することを通して、地域の方や同級生と関わる機会を増やし、成就感を味わえるよう、「田植え」「稲刈り」「餅つき」を行いました。また、子どもたちは、生産者の苦労や喜び等を聞き、働くことの意味に触れ、目標を持って物事に取り組むことの大切さも学びました。

地域の方が声かけをしたり、子どもたち同士が助け合ったりしながら田植えや稲刈りをしたことで、子どもたちの自己有用感を高めることができました。この活動を通して、これまで学習に意欲的に取り組めなかった子どもが、授業中積極的に意見を発表する姿も見られるようになりました。



田植えの様子

##### (2) 様々な出会いづくり

###### ・車イスバスケットボールチーム「チャリオッツ」メンバーとの出会い

自尊感情が低く、将来の展望が抱けない子どもたちが、挑戦することや目標を持って取り組むことの素晴らしさを感じられるよう、車イスバスケットボールチーム「チャリオッツ」のメンバーとの出会いの場を設けました。

代表の方から「周りの人々のおかげで、つらくてもやめようとは思わなかったし、目標を持って取り組むことができた。つらくてもやめるというのも悪くない。でも、初めから諦めるのではなく、何にでも挑戦して欲しいし、挑戦する子がいたら、応援をしてやって欲しい」という話がありました。

子どもたちは、夢や希望を持って生きることの素晴らしさや挑戦することを実感しました。また、目標を持って取り組むことの大切さについても学ぶことができました。子どもたちにとって、自分の将来について考えるための貴重な出会いになりました。この出会いを通し、登校しづらかった子どもが、大好きな雑誌の編集者になる夢を持つようになりました。夢の実現に向け大学進学を目標に、登校日数が増えてきました。



交流の様子

### ◆実践を振り返って

農業体験や様々な出会いづくりを通して、少しずつ子どもたちは変化し始めています。登校しづらかった子どもが、将来の目標を持ち授業中に積極的な姿勢を見せるようになり、学習意欲が向上しました。小中学校で実施した「学校生活等の満足度調査」の結果も、子どもたちの学習意欲や自尊感情のポイントが高くなりました。

今後も、子どもたちの自己実現のため、子ども支援ネットワークの活動をさらに工夫し発展させていきたいと考えています。